

2005年度協会賞審査結果について

私立大学図書館協会会長校
龍谷大学学術情報センター
センター長 松井 賢一

1. 慶應義塾大学メディアセンター

『Webチュートリアル「KITIE」の構築』

本件につきましては、2006年3月2日開催の2005年度第3回協会賞審査委員会にて審議された結果が2006年3月3日開催の2005年度第2回東西合同役員会に答申され協議いたしましたところ、2005年度協会賞に『採択』と決定いたしました。

[採択の理由]

教育支援の一つのモデルを示しており、情報リテラシー教育の先駆的な雛形として、指針になりうる。特にレポート作成の内容に踏み込んでおり、引用の仕方、著作権などの記述は具体的に分かりやすく、且つ見やすく作られている。学内への効用性、有用性、波及効果として他大学にも貢献が期待できる。オリジナリティや長年の取り組みに対する労力共に評価できる。以上により、全会一致にて協会賞として推薦する。

2. 愛知淑徳大学図書館（鹿島みづき・山口純代・小嶋智美・山田稔）

「パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践：図書館員のための主題検索ツール作成ガイド」

本件につきましては、2006年3月2日開催の2005年度第3回協会賞審査委員会にて審議された結果が2006年3月3日開催の2005年度第2回東西合同役員会に答申され協議いたしましたところ、2005年度協会賞に『採択』と決定いたしました。

[採択の理由]

インターネット情報資源を活用した情報の収集を目的とした、とりわけ主題からのアプローチのためのコンテンツ作りは、各大学図書館が試行を重ねている。パスファインダーもその潮流の一つとして理解できる。成果物は、文字通りの意味でのテクニカルサービス部門のグローバル・スタンダード、理論的啓蒙書として、知識的な裏付けのうえに書かれており、手引き書になりうる。オリジナリティ、労力共に評価できる。

大学図書館向けのツールとして作られており、一歩進んでいるという意味で大いに評価できる。以上により、全会一致にて協会賞として推薦する。

なお、2005年度協会賞に採択されました2件の関係者は、私立大学図書館協会第67回総会（2006年9月7日 於：関西学院大学）において表彰されます。